



# 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 ASTI株式会社  
コード番号 6899 URL <https://www.asti.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 経営本部総務部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 053-444-5111

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,030	6.4	662	72.8	1,179	60.0	993	90.1
2023年3月期第1四半期	16,051	21.6	383	7.4	737	136.3	522	143.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,681百万円 (33.9%) 2023年3月期第1四半期 1,255百万円 (231.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	317.74	
2023年3月期第1四半期	167.15	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,744	22,504	46.1
2023年3月期	46,357	21,104	45.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 22,479百万円 2023年3月期 21,087百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		90.00	90.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,000	8.6	900	13.5	900	42.7	700	36.9	223.92
通期	63,000	2.9	1,800	5.0	2,000	4.5	1,500	0.8	479.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	3,417,006 株	2023年3月期	3,417,006 株
2024年3月期1Q	290,910 株	2023年3月期	290,910 株
2024年3月期1Q	3,126,096 株	2023年3月期1Q	3,126,230 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、コロナ禍からの回復により経済の成長が図られたものの、世界第2の経済大国である中国の需要は伸び悩み、設備投資も本格的な回復には至りませんでした。日本においては、コロナウイルス感染症に関する様々な制限措置がようやく撤廃され、サービス業を中心に景気の回復が見られました。また、自動車産業におきましても半導体の供給制約の緩和により生産の回復が図られましたが、二輪車、船外機などのレジャー系の生産品目のピークアウトにより、全体としての当社の生産は当初計画に比べ若干の未達となりました。

欧米諸国における経済の回復は、インフレを引き起こし、インフレ対策としての各国の金融引き締めは、日本円の下落につながっております。また、ウクライナ危機の長期化は、資源価格、原材料価格の高騰を招いており、当社としては、円安、部品高により収益性の低下要因となっております。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画（VISION2025）の3年目として、低炭素社会の実現に資する関連製品の生産・開発の拠点となる浜松工場、BCP（事業継続計画）対応の海外拠点としてのフィリピン工場の稼働を開始し、中期経営計画の実現に向け着実に歩みを進めております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、民生産業機器において販売が減少した影響により、売上高は15,030百万円（前年同期比6.4%減）となりました。営業利益は、円安、原材料価格高があったものの、コロナ禍による生産コスト高騰の価格転嫁が進んだことにより、営業利益は662百万円（同72.8%増）となりました。また、円に対するインドルピー高を主な要因として為替差益520百万円が発生したことにより経常利益は1,179百万円（同60.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は993百万円（同90.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より2,387百万円増加し、48,744百万円となりました。現金及び預金の増加（前連結会計年度末と比較して1,170百万円増）及び原材料及び貯蔵品の増加（同541百万円増）等が主な要因であります。負債は、前連結会計年度末より987百万円増加し、26,240百万円となりました。短期借入金の増加（同1,465百万円増）等が主な要因であります。純資産は、前連結会計年度末より1,399百万円増加し、22,504百万円となりました。利益剰余金の増加（同711百万円増）及び為替換算調整勘定の増加（同606百万円増）等が主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は46.1%となり、前連結会計年度末と比較して0.6ポイント増加しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期においては為替の影響を強く受けた決算となっておりますので、為替の動向が見通せない現状におきましては、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、2023年5月15日に発表した業績予想を修正せず据え置いておりますが、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,838,153	4,008,937
受取手形及び売掛金	8,208,078	7,712,154
電子記録債権	1,559,730	1,562,184
商品及び製品	1,867,560	2,177,042
仕掛品	1,261,546	1,374,090
原材料及び貯蔵品	11,682,847	12,223,911
その他	1,451,110	1,297,749
貸倒引当金	△577	△560
流動資産合計	28,868,449	30,355,510
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,133,175	14,659,309
減価償却累計額	△6,469,926	△6,726,936
建物及び構築物(純額)	7,663,249	7,932,372
機械装置及び運搬具	13,005,395	14,009,710
減価償却累計額	△9,175,407	△9,789,412
機械装置及び運搬具(純額)	3,829,987	4,220,298
土地	2,790,748	2,820,212
建設仮勘定	419,811	508,950
その他	4,992,009	5,042,727
減価償却累計額	△4,363,213	△4,397,037
その他(純額)	628,796	645,689
有形固定資産合計	15,332,592	16,127,524
無形固定資産	858,006	887,633
投資その他の資産		
投資有価証券	645,125	738,582
繰延税金資産	420,137	401,228
その他	235,121	236,188
貸倒引当金	△2,000	△1,999
投資その他の資産合計	1,298,384	1,374,000
固定資産合計	17,488,984	18,389,157
資産合計	46,357,433	48,744,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,967,952	5,045,195
短期借入金	6,834,602	8,300,010
未払法人税等	541,024	210,669
賞与引当金	550,935	868,343
製品保証引当金	12,993	12,920
その他	2,009,153	1,724,542
流動負債合計	14,916,660	16,161,682
固定負債		
長期借入金	10,044,082	9,769,184
退職給付に係る負債	126,303	141,357
その他	165,609	167,959
固定負債合計	10,335,995	10,078,501
負債合計	25,252,656	26,240,183
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,476,232	2,476,232
資本剰余金	2,640,082	2,640,082
利益剰余金	14,789,076	15,501,016
自己株式	△417,807	△417,807
株主資本合計	19,487,583	20,199,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	340,063	412,965
為替換算調整勘定	1,259,898	1,866,790
その他の包括利益累計額合計	1,599,961	2,279,755
非支配株主持分	17,231	25,206
純資産合計	21,104,777	22,504,484
負債純資産合計	46,357,433	48,744,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	16,051,048	15,030,446
売上原価	14,537,174	13,162,577
売上総利益	1,513,873	1,867,869
販売費及び一般管理費	1,130,596	1,205,746
営業利益	383,277	662,123
営業外収益		
受取利息	4,394	19,517
受取配当金	4,785	4,769
為替差益	398,425	520,181
補助金収入	5,982	18,991
助成金収入	3,049	130
保険解約返戻金	2,763	7,819
その他	14,435	18,097
営業外収益合計	433,836	589,507
営業外費用		
支払利息	22,016	41,461
デリバティブ評価損	29,901	24,482
その他	27,766	5,874
営業外費用合計	79,684	71,818
経常利益	737,429	1,179,811
特別利益		
固定資産売却益	291	208
特別利益合計	291	208
特別損失		
固定資産処分損	13,728	1,908
特別損失合計	13,728	1,908
税金等調整前四半期純利益	723,992	1,178,111
法人税等	198,538	178,328
四半期純利益	525,453	999,783
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,898	6,495
親会社株主に帰属する四半期純利益	522,554	993,287

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	525,453	999,783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,461	72,901
為替換算調整勘定	731,835	608,370
その他の包括利益合計	730,374	681,272
四半期包括利益	1,255,827	1,681,056
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,251,625	1,673,081
非支配株主に係る四半期包括利益	4,201	7,975

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,259,709	5,589,269	6,184,045	16,033,024	18,023	16,051,048
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	137,680	54,150	18,748	210,580	34,045	244,625
計	4,397,390	5,643,419	6,202,794	16,243,605	52,068	16,295,673
セグメント利益又は 損失(△)	19,051	137,940	294,097	451,089	△68,000	383,089

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	16,051,048
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△244,625	—
計	△244,625	16,051,048
セグメント利益又は 損失(△)	187	383,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額187千円は、全社費用配賦差額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	車載電装品	民生産業 機器	ワイヤー ハーネス	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	4,944,606	4,351,300	5,692,039	14,987,947	42,499	15,030,446
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	157,070	125,389	20,785	303,245	30,912	334,157
計	5,101,676	4,476,690	5,712,825	15,291,192	73,411	15,364,603
セグメント利益又は 損失(△)	104,098	32,807	550,878	687,784	△27,378	660,405

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への 売上高	—	15,030,446
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	△334,157	—
計	△334,157	15,030,446
セグメント利益又は 損失(△)	1,717	662,123

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、主に新規事業に関する事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,717千円は、全社費用配賦差額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。